

2022年7月29日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

ＪＡグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

能美農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最適な商品提供 【原則2本文および（注）、原則3（注）原則6本文および（注2、3）】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2022年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：4)
株式型	4 (前年度末：4)	7 (前年度末：5)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	8 (前年度末：8)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

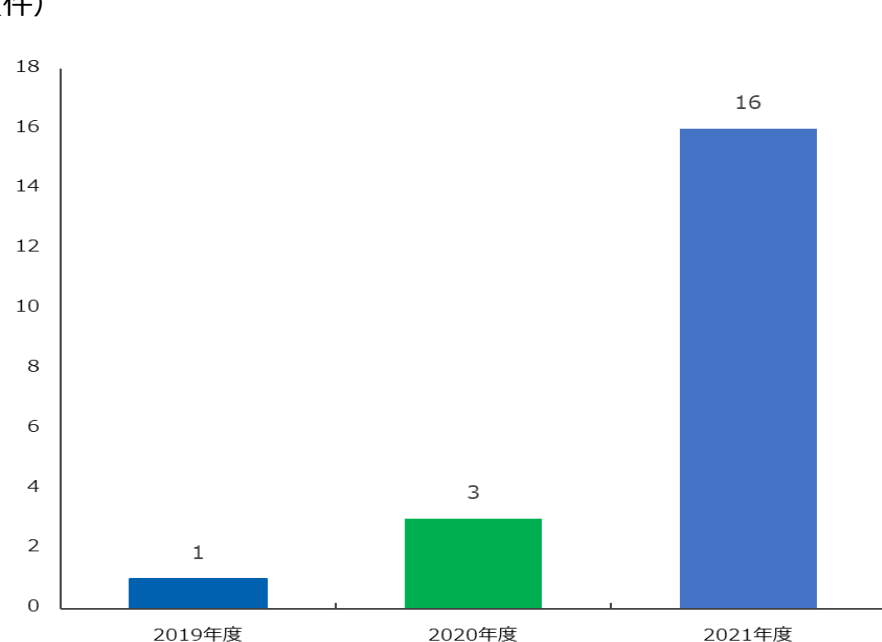
I.取組状況

2 お客様本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

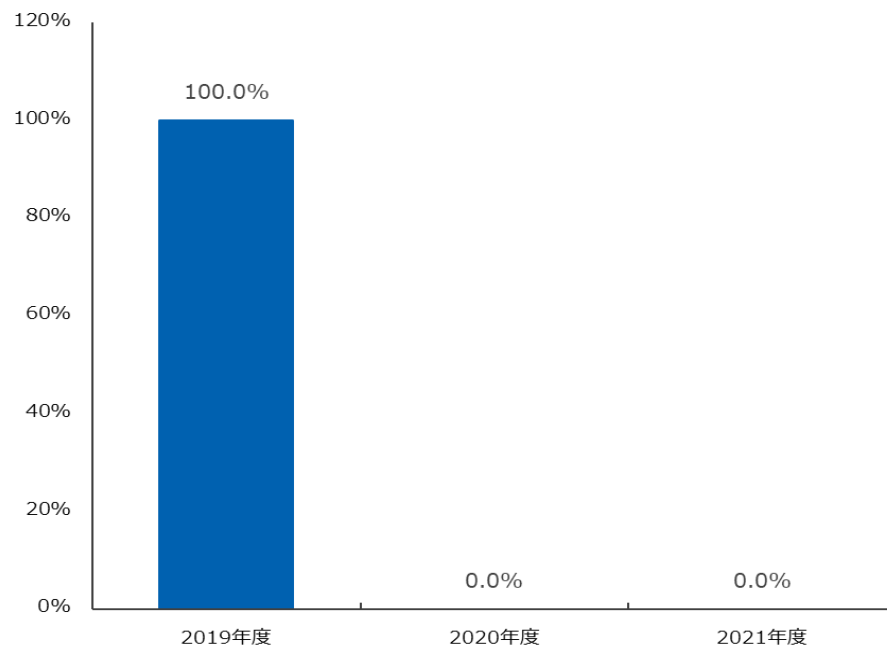
- お客様の長期的な資産形成ニーズに対しては、長期・積立・分散に資する運用方法である投信つみたてをご提案することとしております。
- 毎月分配型の商品については、分配金の再投資による複利効果が得られず、長期的な資産形成には非効率であることから、ご購入を希望されるお客様には、商品性を丁寧にご説明し、お客様のニーズに合わせた商品のご提案をすることとしております。

＜投信つみたて契約件数の推移＞

(件)



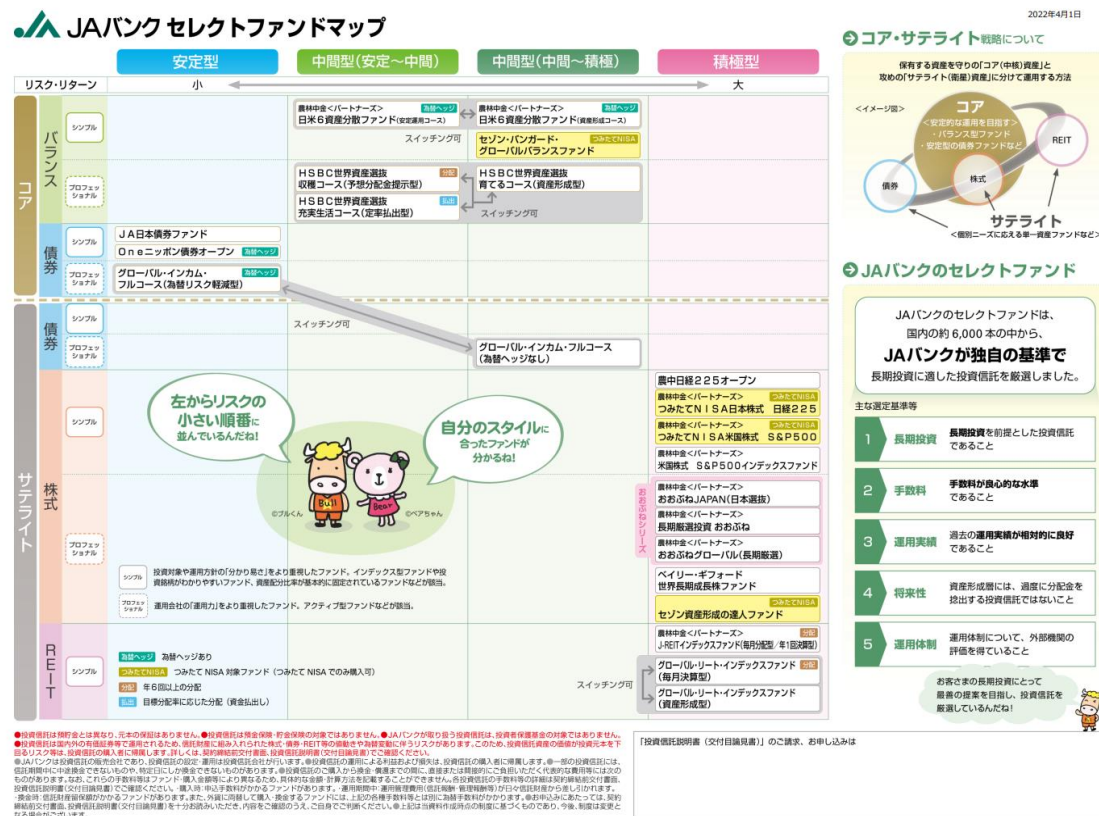
＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



I. 取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、資産運用ガイダンス、J Aバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。



I .取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および（注）】

- ・ J Aバンクでは、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。

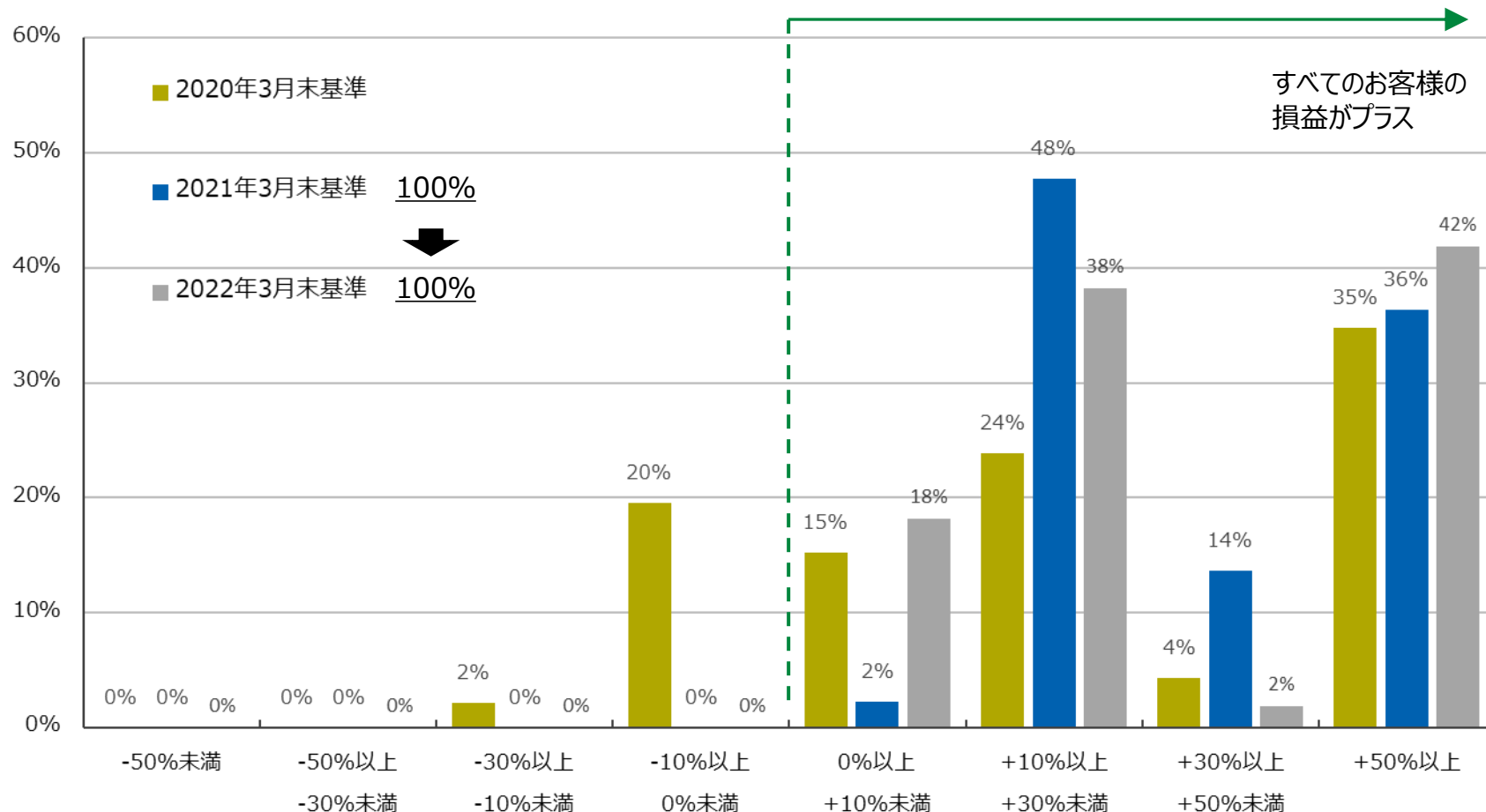
4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）】 【原則7本文および（注）】

- ・ J Aバンクでは、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、各種研修や勉強会の実施、資格の取得を推進しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2022年3月末時点ではすべてのお客さまの損益がプラスとなりました。

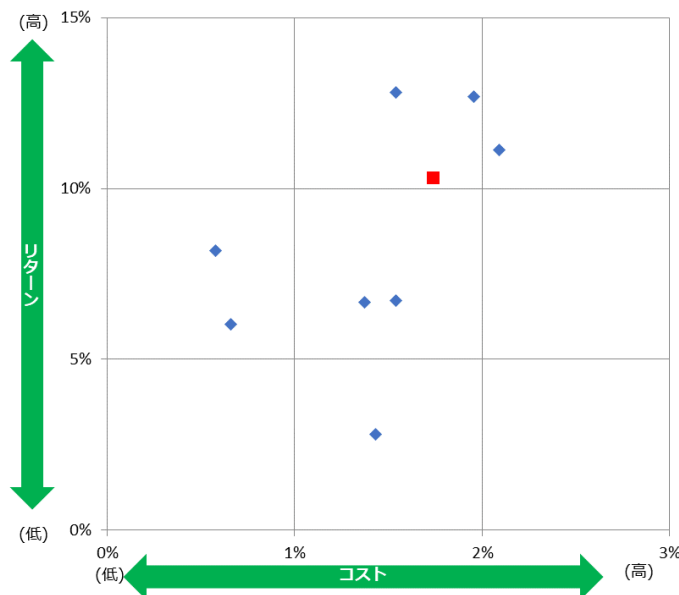


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

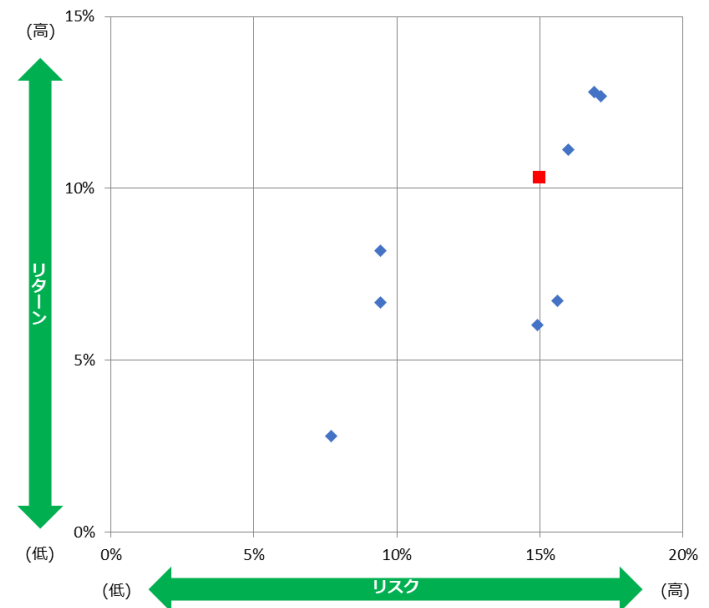
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2022年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.74%、平均リスク14.98%に対して、平均リターンは10.31%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2022年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント（株）	12.69%	17.12%	1.96%
2	世界の財産3分法ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント（株）	6.67%	9.44%	1.38%
3	D I A Mハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne（株）	2.80%	7.69%	1.43%
4	J－REITインデックス（毎月分配型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	6.02%	14.90%	0.66%
5	J A海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	11.13%	15.98%	2.09%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	12.81%	16.91%	1.54%
7	セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	8.19%	9.42%	0.58%
8	D I A M世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne（株）	6.73%	15.61%	1.54%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		10.31%	14.98%	1.74%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は8本となります。

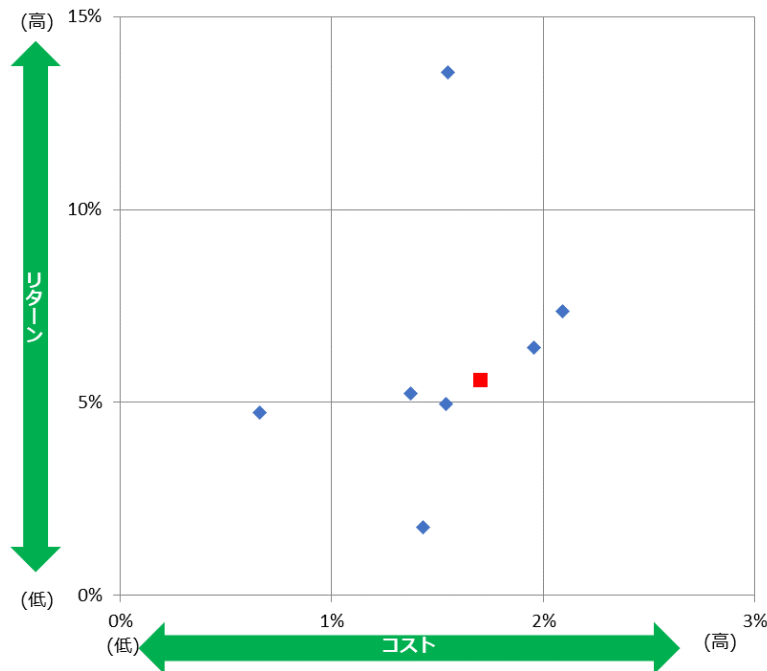
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

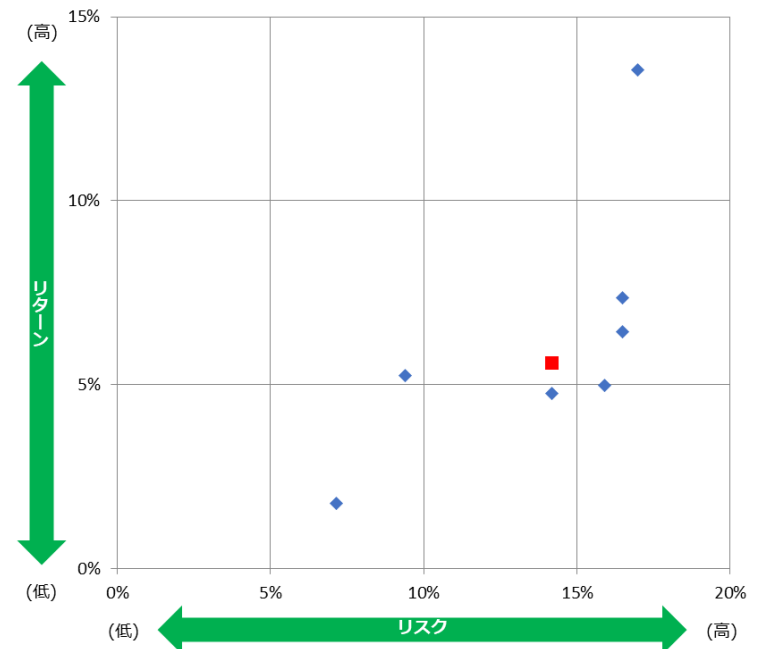
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2021年3月末）

- 2021年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.70%、平均リスク14.19%に対して、平均リターンは5.58%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2021年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	6.43%	16.50%	1.96%
2	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	1.76%	7.14%	1.43%
3	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	5.24%	9.39%	1.38%
4	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.75%	14.19%	0.66%
5	JA海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.37%	16.49%	2.09%
6	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	4.97%	15.90%	1.54%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	13.55%	16.99%	1.55%
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		5.58%	14.19%	1.70%

※ 2021年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は7本となります。

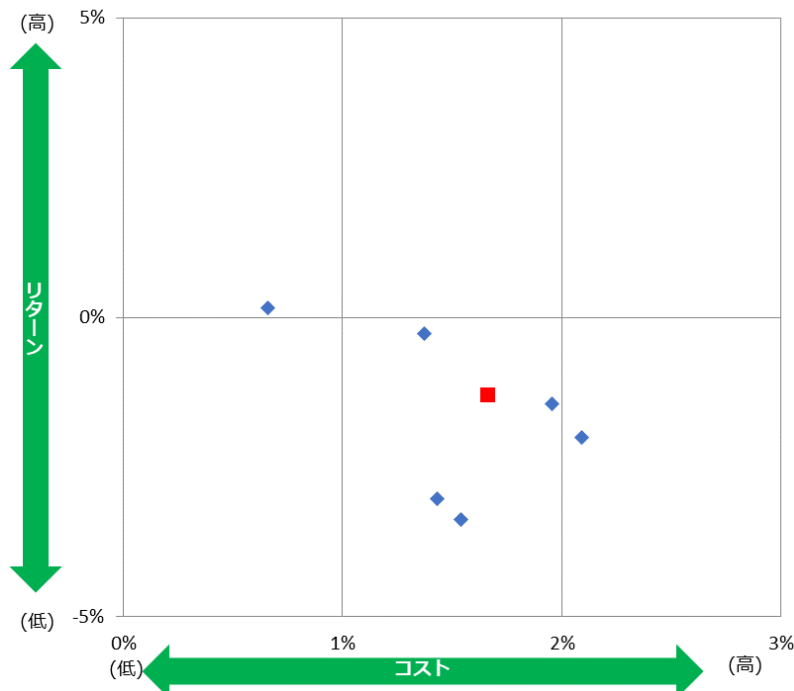
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2020年3月末)

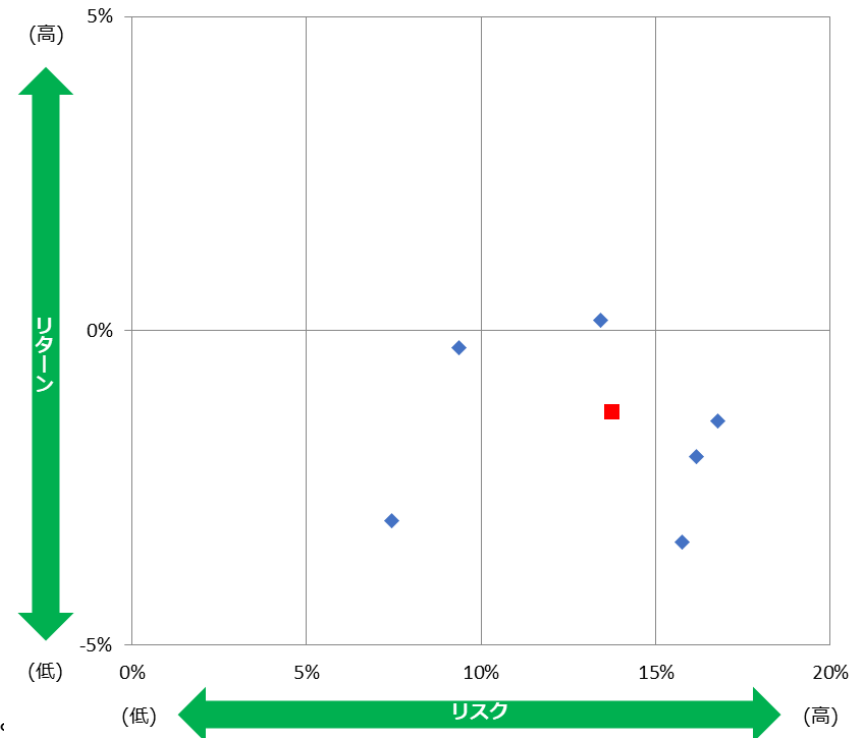
- 2020年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.66%、平均リスク13.76%に対して、平均リターンは-1.29%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2020年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	-1.44%	16.79%	1.96%
2	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	-0.28%	9.36%	1.38%
3	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	-3.03%	7.44%	1.43%
4	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	0.16%	13.44%	0.66%
5	JA海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.00%	16.17%	2.09%
6	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	-3.37%	15.76%	1.54%
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		-1.29%	13.76%	1.66%

※ 2020年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は6本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。